

平成 30 年度 事 業 報 告 書

公益財団法人 日本発明振興協会

当協会は昭和 28 年に「優秀発明振興協会」として創立、昭和 34 年 11 月 11 日「財団法人日本発明振興協会」として内閣総理大臣より設立の許可を受けた。昭和 48 年には現在地に日本発明振興会館を建設して当協会の目的である発明振興活動の拠点とし、旧科学技術庁をはじめとする諸官庁の指導のもとに科学技術の普及啓発と思想の高揚を図り産業の発展及び国民生活の向上に努めてきた。

平成 22 年 4 月には公益財団法人の移行申請を行い、同年 11 月 19 日に内閣総理大臣より移行認定書を受領し、同年 12 月 1 日に解散登記並びに設立登記を行うことによって新たに「公益財団法人日本発明振興協会」として再スタートした。

平成 30 年度においては、平成 29 年度に引き続き公益事業として 4 つの事業を柱に従来の発明振興及び普及の諸事業を継続実施した。

まず本部については、第 44 回「発明大賞表彰事業」において、平成 30 年 7 月から 9 月に募集を行った案件に対し、予備審査及び審査を経て受賞者の決定を行い、平成 31 年 3 月 13 日に表彰式を行った。第 40 回「こども発明教室」は平成 30 年 5 月から約 8 ヶ月間、土、日曜日を利用して実施し、平成 31 年 2 月 3 日には修了式を行った。「発明普及事業」としては、第 38 回「発明研究奨励金交付事業」を平成 30 年 5 月から 7 月に交付申請を受け付け、平成 30 年 11 月 20 日に交付式を行った。科学技術週間に参加し、平成 30 年 4 月 17 日に優秀発明発表会を開催した。また、交流及び見学研修会、会社説明会、講演会など種々の情報発信や、相談員による発明無料相談を行った。さらに、サイエンストランプについては、新規に科学技術偉人トランプを制作するとともに、これまで制作したトランプの普及を図った。「会誌発行事業」としては、機関誌「発明と生活」の発行を継続して実施した。その他、叙勲、国家褒章、文部科学大臣表彰等、各種表彰制度への推薦、新春賀詞交歓会を実施した。これら事業を、都産技研、科学技術振興機構との連携協力協定のもとに実施した。

関西支部においては、発明大賞表彰事業などの本部事業について協力するとともに、発明普及事業として、第 38 回優秀発明賞表彰事業等を実施した。

一. 本 部 事 業

1. 発明大賞表彰事業

日刊工業新聞社と共催の第44回発明大賞の表彰事業として、中堅・中小企業及び個人またはグループを対象に発明大賞、発明功労賞、考案功労賞、発明奨励賞、発明育成賞を設定し、募集を行い、各賞を授与し顕彰した。平成31年3月13日に明治記念館において表彰式を行った。

発 明 大 賞 (4件)

(1) 発明大賞本賞

「唾液分泌量を評価する口腔粘膜湿潤度検査機器」

(株)ライフ	代表取締役	古川 誠	殿
	品質部	佐藤 龍起	殿
	統括部 取締役	古川 潤	殿

(2) 発明大賞東京都知事賞

「中赤外顕微鏡用高機能ダイヤモンド ATR 対物鏡」

(株)エス・ティ・ジャパン	代表取締役社長	中川 孝郎	殿
	技術部	増谷 浩二	殿
	技術部 係長	杉本 哲也	殿

(3) 発明大賞日本発明振興協会会長賞

「密着締付式サイズフリー容器運搬袋」

(株)ミヤゲン	取締役会長	宮元 武壽	殿
合同会社シービービズ	代表社員	宮元 武利	殿

(4) 発明大賞日刊工業新聞社賞

「金属切削屑粉碎圧縮装置」

(株)クリエイトエンジニアリング	代表取締役	栗田 省三	殿
------------------	-------	-------	---

発 明 功 労 賞 (7件)

(1) 「高精細ディスプレイ向け高精度・極微量インクジェット塗布装置」

AI メカテック(株)	代表取締役社長	阿部 猪佐雄	殿
薄膜技術イノベーションセンタ	部長	中村 秀男	殿
LCS センタ	副センタ長	川隅 幸宏	殿

(2) 「精密温度調整装置及び精密温度調整方法」

オリオン機械(株) 開発本部	専務取締役	開発本部長	吉岡 万寿男	殿
	環境システム事業本部	副本部長	小林 正一	殿
	開発本部		太田 浩一	殿
	環境システム事業本部	空調システム技術部長	寺島 雅俊	殿

(3) 「検体の検査方法、検体の検査装置及び検体の検査キット」

(株)協和医療器	専務取締役	小野寺 俊弥	殿
	検査センター 技術開発部長	宮下 光良	殿

- (4) 「手術トレーニング臓器モデルの開発」
サンアロー(株) 新潟工場 要素開発課 主任 桑原 豊 殿
開発部 課長 小川 敦 殿
- (5) 「刃物台への高圧クーラント液分配装置」
(株)トクピ製作所 代表取締役社長 森合 主税 殿
製造部 係長 森合 勇介 殿
- (6) 「ハンドル操作が容易な手元減圧弁」
日本精器(株) 生産推進部 開発課 課長 伊達 則行 殿
- (7) 「見えなかったすきま時間の化学反応が見える高速分光技術」
(株)ユニソク 分光・制御事業部 取締役 部長 中川 達央 殿
分光・制御事業部 分光技術部 課長 岡本 基土 殿
分光・制御事業部 分光技術部 係長 花田 啓明 殿

考 案 功 勞 賞 (9 件)

- (1) 「注水式回転ブラシを用いたミスト・粉塵類捕集装置」
(株)アンレット 技術部 参事 加藤 利明 殿
技術部 参与 伊藤 義展 殿
技術部 課長 岡野 英幸 殿
- (2) 「段取りで生産を止めない旋盤用クイック爪」
(有)シンセテック 代表取締役 石川 禎章 殿
- (3) 「加湿冷却モジュールを用いた耐候性試験機」
スガ試験機(株) 代表取締役社長 須賀 茂雄 殿
製造本部 日高・川越工場 工場長補佐 菊川 信治 殿
- (4) 「皮膚表面及び皮膚内部を観察するための装置」
デルマ医療合資会社 代表社員 篠崎 俊 殿
- (5) 「無線綴じ冊子の製本方法」
(有)中村印刷所 代表取締役社長 中村 輝雄 殿
- (6) 「簡易かつ効果的な水田畦の機能回復工法 (モラン工法)」
野原工業(株) 代表取締役 野原 英嗣 殿
工事部 執行役員 工事部長 竹田 実 殿
- (7) 「水位等を検知し太陽光を電源とした水門扉の自動開閉装置」
個人 橋詰 薫 殿
- (8) 「新加圧構造を有するコンパクトで安全な混練機(ミキサー)」
(株)フジエンジニアリング 代表取締役 三浦 晃義 殿
- (9) 「堅型ごみ焼却炉における燃焼用空気の供給方法及び堅型ごみ焼却炉」
(株)プランテック 会長 勝井 征三 殿

発 明 奨 励 賞 (5 件)

(1) 「三次元開口機構型室内換気口」

(有)井場設計事務所 代表取締役 井場 正治 殿

(2) 「おしゃべり電球」

(株)ツインエコ 代表取締役社長 早田 孝司 殿

(3) 「ひょうたん型回転板磁気研磨機」

(株)プライオリティ 代表取締役 中野 修 殿

ヤエス軽工業(株) 専務取締役 山崎 次雄 殿

(4) 「連続種苗テーピング方法」

(株)ユニプラン 代表取締役 高橋 正明 殿

(5) 「落書き除去剤と除去方法」

横浜油脂工業(株) 代表取締役社長 本多 秀夫 殿

精密洗浄剤事業部 永富 和哉 殿

発 明 育 成 賞 (1 件)

(1) 「地盤改良工事に伴う 6 価クロム汚染の防止剤」

初野建材工業(株) 代表取締役 初野 直樹 殿

2. こども発明教室事業

第 40 回こども発明教室を会館地下 1 階を利用し、土曜日午後及び日曜日午前・午後に実施した。135 名が入室し、専任講師 1 名、講師 20 名が交替で指導に当たった。平成 31 年 1 月 20 日に作品の審査会を行い、同年 2 月 3 日に修了式を行った。

教室での教材としてこども発明教室 40 周年記念誌「こどもたちの無限の発想力」を制作するとともに、東京都内の教育委員会、学校等に提供した。

3. 発明普及事業

(1) 発明奨励金交付

第 38 回発明奨励金事業を実施し、平成 30 年 11 月 20 日、日本発明振興会館に於いて 3 件に奨励金を交付した。

交付対象となった試作・研究題目及び受領者は次のとおりである。

3-H P M A を指標とした脳卒中及び/又は脳梗塞の判定方法

(株)アミンファーマ研究所 代表取締役社長 五十嵐 一衛 殿

物品移動装置

(株)スカイ・テクノ 代表取締役 吉澤 茂 殿

E V 用高速速断ヒューズ

個人 梅田 忠司 殿

(2) 優秀発明発表会

科学技術週間に参加し、平成 30 年 4 月 17 日に第 43 回発明大賞受賞者 9 社によ

る優秀発明発表会を JAM 金属労働会館にて開催した。

(3) 発明相談

発明に関する特許、技術その他の無料発明相談を行った。

(4) 交流及び見学研修会等

交流及び見学研修会参加

平成 30 年 10 月 18～19 日に関西支部の企画する交流及び見学研修会に参加し交流を深めた。

講演会

平成 30 年 12 月 10 日、東京商工会議所が主催した「勇気ある経営大賞」の受賞者を講師とする講演会「イノベーションの継続的実現をめざすー「勇気ある経営大賞」受賞者に学ぶ経営戦略ー」を開催した。

講師：日本電鍍工業(株) 伊藤 麻美 代表取締役社長

エコサイクル(株) シュリハリ チャンドラガトギ 代表取締役社長

サイエンストランプ

新規に科学技術偉人トランプを制作するとともに、これまで制作した 5 種類のトランプを含め全国の科学館等での普及に努めた。また、「科学の甲子園」を初めとする学生科学コンテストの全国大会に参加賞として提供した。

4. 会誌発行等事業

機関誌『発明と生活』を 6 回発行した。特別対談、講演会、こども発明教室等、各種協会事業や会員の荣誉等について報告し、賛助会員及び関係方面に配布した。

5. 優秀発明功労者の推薦

(1) 叙勲、国家褒章への推薦 (3 件)

該当する候補者を文部科学省に推薦し、下記の方が受章した。

旭日双光章 (伝達式 令和元年 5 月 28 日)

若山 敏次 殿 (株)昭和冷凍プラント 取締役会長

吉田 俊雄 殿 淀川ヒューテック(株) 最高顧問

黄綬褒章 (伝達式 令和元年 5 月 30 日)

武 紘一 殿 (株)静科 経営企画室長

(2) 文部科学大臣表彰への推薦 (1 件)

該当する候補者を文部科学省に推薦し、下記の方が受賞した。

科学技術賞技術部門

青山 健祐 殿 三和紙器(株) 取締役会長

齋藤 義貴 殿 大成技研(株) 代表取締役

崔 成根 殿 (株)常磐谷沢製作所 工場長

鈴木 昭吉 殿 (株)常磐谷沢製作所 品質管理部部長
請川 武史 殿 (株)常磐谷沢製作所 開発部開発課主任

6. 新春賀詞交歓会

平成 31 年 1 月 22 日に明治記念館にて新春賀詞交歓会を開催した。

7. 理事・評議員会など

- (1) 平成 30 年度 第 1 回理事会 (平成 30 年 5 月 30 日)
 - 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告書 (案) について
 - 第 2 号議案 平成 29 年度決算報告書 (案) について
 - 第 3 号議案 財産管理運用規定の改正について
 - 第 4 号議案 関西支部運営委員の任命について
 - 第 5 号議案 本部事務局長の任命について
 - 第 6 号議案 関西支部事務局長の任命について
 - 第 7 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事業について
- (2) 平成 30 年度 第 1 回評議員会 (平成 30 年 6 月 21 日)
 - 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告書 (案) について
 - 第 2 号議案 平成 29 年度決算報告書 (案) について
- (3) 平成 30 年度 第 2 回理事会 (平成 30 年 12 月 10 日)
 - 第 1 号議案 中間財務状況について
 - 第 2 号議案 財産管理規定の改正について
 - 第 3 号議案 発明研究奨励金交付事業審査基準の改正について
- (4) 平成 30 年度 第 3 回理事会 (平成 31 年 3 月 5 日)
 - 第 1 号議案 平成 31 年度事業計画書 (案)
 - 第 2 号議案 平成 31 年度収支予算書 (案) および
資金調達及び設備投資の見込み (案)
 - 第 3 号議案 理事の選任について
 - 第 4 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事業について
- (5) 平成 30 年度 臨時評議員会 (平成 31 年 3 月 14 日)
 - 第 1 号議案 平成 31 年度 事業計画書 (案) について
 - 第 2 号議案 平成 31 年度 収支予算書 (案) および
資金調達及び設備投資の見込み (案) について
 - 第 3 号議案 理事の選任について

8. その他事業

中小企業活動について学生に紹介する会社説明会を大学と協力して実施した。

平成 30 年 10 月 11 日 千葉工業大学

二. 関西支部事業

1. 発明普及事業

(1) 平成30年度交流及び見学研修会

平成30年10月18～19日、三菱重工業MR J最終組立工場および三菱電機名古屋製作所での交流及び見学研修会を企画、実施した。

(2) 平成30年度発明振興表彰式・第38回優秀発明賞表彰式・新年交流会の開催

平成31年1月25日メルパーク大阪にて発明振興表彰式・第38回優秀発明賞表彰式・新年交流会を行った。第38回優秀発明賞事業では、平成30年4月から6月まで募集し下記の表彰を実施した。

関西発明大賞	1件
大阪府知事賞	1件
日刊工業新聞社大阪支社長賞	1件
日本弁理士会近畿支部長賞	1件
優秀発明賞	6件
考案賞	4件
アイデア賞	4件

(3) 工作教室

子どもたちに「ものづくり」の楽しさを知ってもらいたいという思いのもとに大阪府吹田市の小学校2校で学童保育向けに工作教室を実施した。

第1回目	平成30年7月31日(火)	参加者約30名
第2回目	平成30年12月26日(水)	参加者約50名

(4) 発明相談

発明に関する特許、技術その他の無料発明相談を行った。